

証券コード：6718

アイホン株式会社

Business Report 2010

第53期 中間報告書

2010.4.1 ▶ 2010.9.30



COMMUNICATION
& SECURITY



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社第53期第2四半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 **市川 周作**

当第2四半期の概況

平成22年4月1日から9月30日までの6ヵ月間（以下、当第2四半期）のわが国の経済は、企業収益におきましては世界経済の回復や国内外の緊急経済対策の政策効果などにより改善が続き、景気の自律的回復に向けた動きが見られる一方、失業率が引き続き高水準にあるなど厳しい状況となりました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、雇用情勢や所得環境等が依然として厳しいことから、日本国内の住宅販売は回復の兆しが見られるものの新設住宅着工戸数は低調に推移し、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループはお客様のニーズに応えるべく、新製品の開発と積極的な営業活動を展開して業績の向上に努めてまいりました。

当第2四半期の連結の経営成績は、売上高142億4千3

百万円（前年同四半期比4.5%減）と前年同四半期を下回りました。また利益面につきましては、コストダウンに努めましたが減収による影響が大きく、営業損失は1億9千9百万円（前年同四半期は営業利益2億1百万円）、経常損失は1億9千4百万円（前年同四半期は経常利益1億8千3百万円）、四半期純損失は2億4千3百万円（前年同四半期は四半期純利益1億4千9百万円）となりました。

個別の経営成績につきましては、売上高は130億3千2百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業損失は4億1千5百万円（前年同四半期は営業損失1億1千4百万円）、経常損失は4億1千3百万円（前年同四半期は経常損失8千4百万円）、四半期純損失は3億2千万円（前年同四半期は四半期純損失1億7百万円）となりました。

売上高



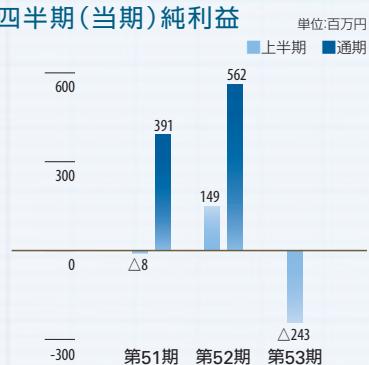
営業利益



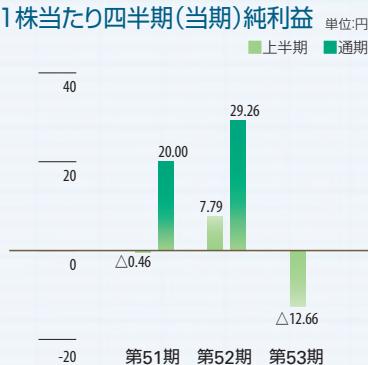
経常利益



四半期(当期)純利益



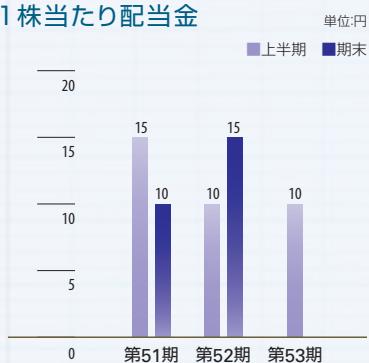
1株当たり四半期(当期)純利益



Financial Highlights

決算ハイライト (連結)

1株当たり配当金



総資産



純資産



品目別の状況（連結）

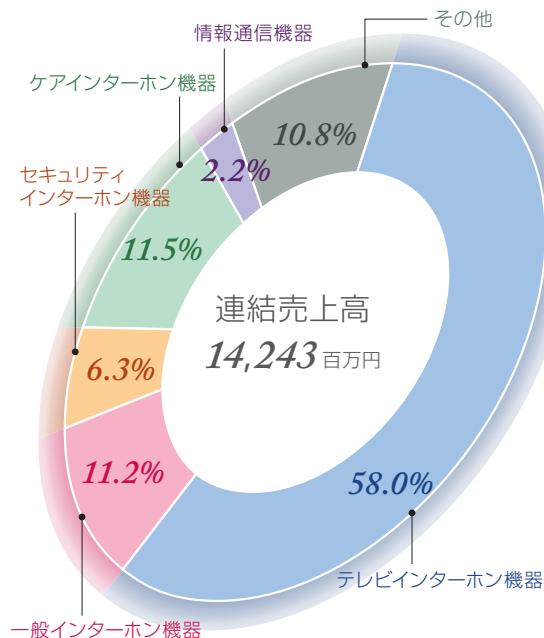
当社の企業集団は、当社及び子会社7社で構成され、一般インターホン機器、セキュリティインターホン機器、テレビインターホン機器、ケアインターホン機器及び情報通信機器等の電気通信機器の製造・販売を主な内容とし、さらに各事業に関連する据付工事、請負、修理等の事業活動を展開しております。

品目別販売状況

品目	売上高(百万円)	前年同期比増減率(%)	構成比(%)
一般インターホン機器	1,601	△8.7	11.2
セキュリティインターホン機器	896	△19.1	6.3
テレビインターホン機器	8,254	△7.9	58.0
ケアインターホン機器	1,633	18.8	11.5
情報通信機器	311	△16.3	2.2
その他	1,545	15.3	10.8
合計	14,243	△4.5	100.0

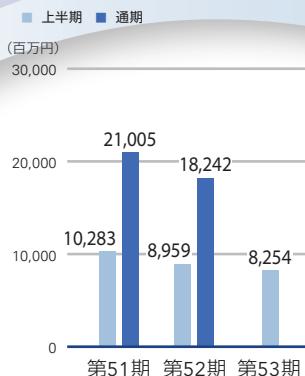
注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

品目別売上高構成比



Tv intercom machinery テレビインターホン機器

売上高



General intercom machinery 一般インターホン機器

売上高



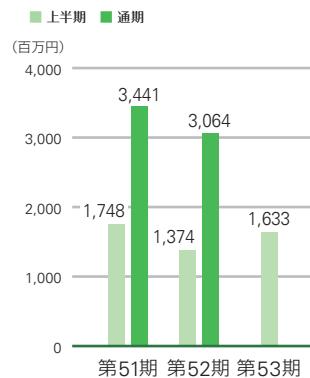
Security intercom machinery セキュリティインターホン機器

売上高



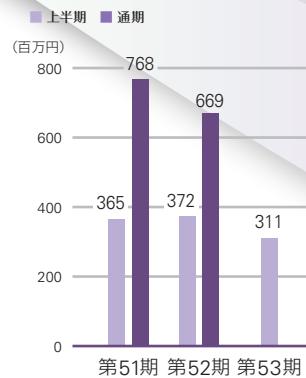
Care intercom machinery ケアインターホン機器

売上高



Information and communication machinery 情報通信機器

売上高



名証IRエキスポ2010

主催 名古屋証券取引所



「名証IRエキスポ2010」に出展いたしました。

今年で17回目を迎える「名証IRエキスポ2010」（名古屋証券取引所主催）が7月16日（金）17日（土）の2日間にわたり、名古屋市の中小企業振興会館（吹上ホール）で開催されました。

今年は112社の企業が出展し、猛暑の中にも関わらず、両日合わせて6,500名と多くの投資家の方々が来場されました。

当社も証券アナリスト向け個別面談やブースツアー説明会を行い、会社の概要や2010年3月期の決算概要等をご説明するとともに、実際の商品を見て触れていただく機会とすることができ、好評をいただきました。

INTEROP TOKYO 2010

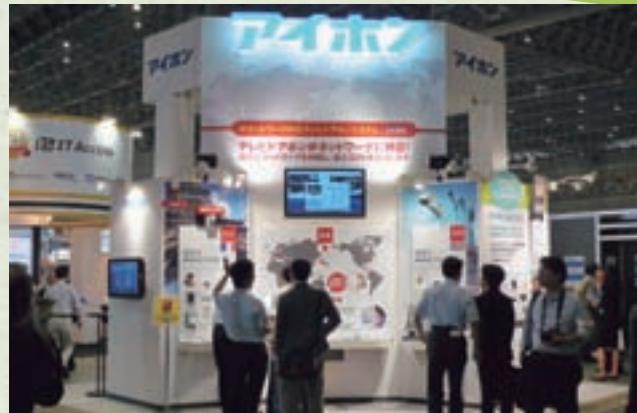
主催 (財) インターネット協会
(株) ナノオプト・メディア

「INTEROP TOKYO 2010」に出展いたしました。

ネットワーク関連の展示会では国内最大級の展示会「INTEROP TOKYO 2010」が2010年6月9日(水)～11日(金)の3日間にわたり、幕張メッセ国際展示場で開催されました。

今年は約300社の企業が出展し、総来場者数は131,771名にもものぼり、当社のブースにも多くのご来場者様にお越しいただきました。

最新のインターネットと企業のネットワークが「いかにつながるか」をテーマに、当社も最新のIPネットワーク対応テレビドアホンなどを紹介し、好評をいただきました。



会社概況 (2010年9月30日現在)

社名	アイホン株式会社 AIPHONE CO.,LTD.
創立	昭和23年6月1日
本社所在地	名古屋市熱田区神野町2-18
資本金	5,388,844,000円
従業員数	1,438人(連結) 923人(個別)

事業の内容

1. 通信機器、音響機器、電子応用機器ならびに各種電気機器の製造、据付工事、請負、修理、売買及び輸出入。
2. 情報通信、情報処理及び情報提供のサービスならびにインターネット接続仲介業。
3. コンピュータシステム機器及びソフトウェアの設計、開発ならびに販売。
4. 損害保険代理店業及び生命保険の募集に関する業務。
5. 不動産の売買・賃貸借及びその仲介ならびに不動産の管理。
6. 前各号に付帯する一切の業務。

上記の主な製品品目は、一般インターホン機器、セキュリティインターホン機器、テレビインターホン機器、ケアインターホン機器、情報通信機器であります。

役員 (2010年9月30日現在)

代表取締役社長	市川 周作
常務取締役	堀田 透
取締役	安藤 正道
取締役	寺尾 浩典
取締役	平児 敦夫
取締役	和田 健

常勤監査役	梶田 良貴
監査役	坂浦 正輝
監査役	立岡 亘
監査役	石田 喜樹

当社の製品をご自由にご覧いただけます

月曜日～金曜日(除く祝日、夏季休暇、年末年始休暇) 営業時間 >>> 9:00～17:00

本社ショールーム



〒456-8666
名古屋市熱田区神野町2-18
(052) 682-3877

地下鉄名港線: 日比野駅 2番出口より徒歩約5分

東京ショールーム



〒112-0001
東京都文京区白山3-2-2
(03) 5684-3411

東京メトロ丸ノ内線: 茗荷谷駅 春日通出口より徒歩約12分
都営地下鉄三田線: 白山駅 A1出口より徒歩約13分
当ショールームには駐車場のご用意はございません。ショールームにお越しの際には恐れ入りますが、公共交通機関をご利用ください。

大阪ショールーム



〒540-0005
大阪市中央区上町1-5-16
(06) 6765-0352

地下鉄鶴見緑地線: 玉造駅 1番出口より徒歩約5分
JR大阪環状線: 玉造駅 徒歩約13分

国内ネットワーク



本社



東京支店



豊田工場



大阪支店



AIPHONE S.A.S.
フランス・リッセ



AIPHONE COMMUNICATIONS (THAILAND) CO., LTD.
タイ・チョンブリ県

AIPHONE COMMUNICATIONS (VIETNAM) CO., LTD.
ベトナム・ビンズン省

愛峰香港有限公司
中国・香港九龍

アイホン本社



AIPHONE CORPORATION
アメリカ・ワシントン州

海外ネットワーク



連結貸借対照表

[単位：百万円]

科目	当第2四半期	前第2四半期	前期
	H22.9.30 現在	H21.9.30 現在	H22.3.31 現在
資産の部			
流動資産	30,477	29,716	31,264
固定資産	13,513	14,452	14,152
有形固定資産	5,060	5,549	5,312
無形固定資産	0	0	0
投資その他の資産	8,452	8,903	8,839
資産合計	43,990	44,169	45,416
負債の部			
流動負債	3,705	3,171	3,924
固定負債	1,617	1,564	1,571
負債合計	5,322	4,736	5,495
純資産の部			
株主資本	40,712	41,024	41,244
評価・換算差額等	△ 2,868	△ 2,443	△ 2,218
少数株主持分	823	851	896
純資産合計	38,668	39,433	39,921
負債純資産合計	43,990	44,169	45,416

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

連結損益計算書

[単位：百万円]

科目	当第2四半期	前第2四半期	前期
	H22.4.1～ H22.9.30	H21.4.1～ H21.9.30	H21.4.1～ H22.3.31
売上高	14,243	14,908	30,691
売上原価	8,341	8,759	18,036
売上総利益	5,902	6,149	12,654
販売費及び一般管理費	6,102	5,947	11,968
営業利益(△は損失)	△ 199	201	685
営業外収益	146	172	361
営業外費用	141	190	327
経常利益(△は損失)	△ 194	183	720
特別利益	5	1	9
特別損失	190	46	101
税金等調整前四半期 (当期)純利益(△は損失)	△ 380	138	628
法人税、住民税及び事業税	△ 161	△ 28	33
少数株主損益調整前 四半期純損失	△ 218	—	—
少数株主利益	24	17	32
四半期(当期)純利益(△は損失)	△ 243	149	562

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：百万円]

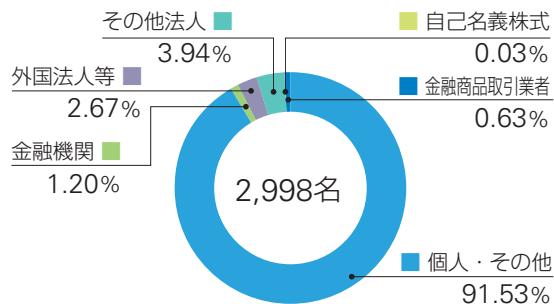
科目	当第2四半期	前第2四半期	前期
	H22.4.1～H22.9.30	H21.4.1～H21.9.30	H21.4.1～H22.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	441	2,028	3,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 180	△ 294	△ 882
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 299	△ 204	△ 405
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 313	△ 227	△ 68
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 351	1,301	2,496
現金及び現金同等物の期首残高	15,547	13,051	13,051
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	15,195	14,352	15,547

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

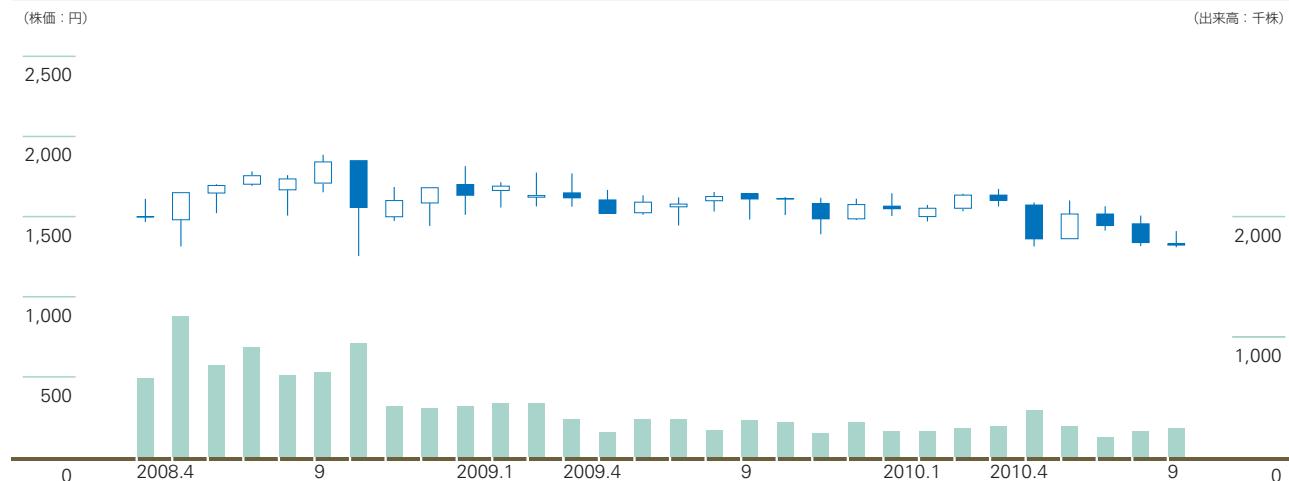
株式の状況 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	20,674,128株
株主数	2,998名

所有者別分布状況 (2010年9月30日現在)



株価・出来高の推移 (2010年9月30日現在)



大株主 (2010年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
市川周作	2,793	14.53
いちごトラスト	2,208	11.49
アイホン従業員持株会	785	4.08
株式会社みずほ銀行	726	3.77
日本生命保険相互会社	613	3.19
三菱UFJ信託銀行株式会社	607	3.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	604	3.14
第一生命保険株式会社	480	2.49
住友生命保険相互会社	364	1.89
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	359	1.87

注：当社は自己株式1,456千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aiphone.co.jp/bu/koukoku.html (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)
公告の方法	

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定(*) 	口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	【手続き書類のご請求方法】 <ul style="list-style-type: none"> 音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のお手続き、ご照会等 		口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。製品紹介のサイトでは当社が出展した展示会情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。

<http://www.aiphone.co.jp>



■ 受賞・認証

 品質管理の最高賞 デミング賞受賞 <small>(昭和56年11月受賞)</small>	 ISO9001認証 JQA-Q291 <small>該当製品 標準品・受注品</small> <small>(平成5年10月認証)</small>	 ISO14001認証 JQA-EMO453 <small>豊田工場サイト (平成11年6月認証)</small> <small>本社・大宝サイト (平成18年5月認証)</small>
---	---	--

■ 商品の修理受付・ご相談

修理受付センター

0120-037-704

FAX 0120-098-990

●受付時間 午前9:00～午後5:30 ●年中無休(365日)受付
土曜、日曜も受け付けております。

お取り扱いなどのご相談は

お客様相談センター

0120-141-092

(ご注意 携帯電話からのご利用はできません)

●受付時間 午前9:00～午後5:30
●土・日、祝日、およびお盆、年末・年始、ゴールデンウィークを除く。

